

■ 児童学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

本学科は、子どもたちの幸せを願い、子どもと子どもを取り巻く環境について幅広い分野の専門的知識を学びます。少人数の演習授業をはじめ、学生と教員でのコミュニケーションを深めることで、専門的知識とともに豊かな人間性を磨き、社会のさまざまな場面での教育・福祉に貢献できる人材の育成をめざしています。

■ 上記の教育目標をかかげて、児童学科ではこのような人を求めています

- (1) 広く社会問題に関心を持ち、自ら考え、学ぶ意欲や向上心がある人を求めています。
- (2) 自然・社会体験活動などに積極的に参加し、自ら人格形成に努めようとする人を求めています。
- (3) 自己表現力、感性が豊かであるとともに、相手の立場になって物事を考え、行動できる人を求めています。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

子どもという大きな存在を理解するうえで、また教員・保育士としてあらゆる側面から子どもの成長に貢献するうえでは、幅広い知識が求められます。文系、理系といった枠組みにとらわれることなく、高校の授業全般に興味をもって学ぶことが必要です。